



# 庭 家

第 二 卷  
第 七 號

七 月 五 日  
發 行

定 價

一部金八錢 ● 半年分前金四十二  
錢 ● 一年分前金八十錢 (郵税不  
要) 郵券代用五厘切手一割増  
● 毎月一回五日發行

- 家庭の圓滿を願ふ人はよめ!
- 家庭の樂みを望む人はよめ!
- 『家庭』は女子の樂しき友なり
- 女子の智徳に志す人はよめ!
- 兒童の養育を思ふ人はよめ!

## 發 行 所

東 京 本 郷 東 片 町  
一 三 五

## 家 庭 發 行 所

# ●夏季女子講習會廣告●

今般公會ニ於テ教員タルニ必須ノ學力ヲ補充シ兼テ一般女子ノ爲メ新智識ヲ啓沃セシムルノ目的ヲ以テ本年七月廿八日ヨリ同八月十六日マテ神田橋外東京府立第一高等女學校内ニ於テ夏季女子講習會ヲ開ク講習志望者ハ講習科目、住所、族籍、職業、氏名、生年月ヲ記シタル書面(用紙半紙)ヲ本會事務所ニ差出スベシ

## ◎講習科目及講師

東京府女子師範學校教諭

東京音樂學校教授

女子高等師範學校教諭

前田捨松君  
小山作之助君  
波多野とく子君

## 一國語 一音樂事

(育兒法)

## ◎講習料

一科目 金壹圓

但シ音樂ノミヲ修ムルモノハ金壹圓貳拾錢

三科目 金貳圓

## ◎證明書

講習結了後證明書ヲ授與ス

## ◎科外參觀

女子教育上有益ナル工場學校等ヲ參觀スルノ便宜ヲ與フベシ

明治三十五年五月

東京市神田區一番地  
橋通り町廿一

# 東京府教育會

入會願書式

(用紙半紙)  
入會願

願

現住所、族稱、職業

生年名  
月名

貴會夏季女子講習會へ入會致度此段相願候也

明治三十五年 月 日

右 氏

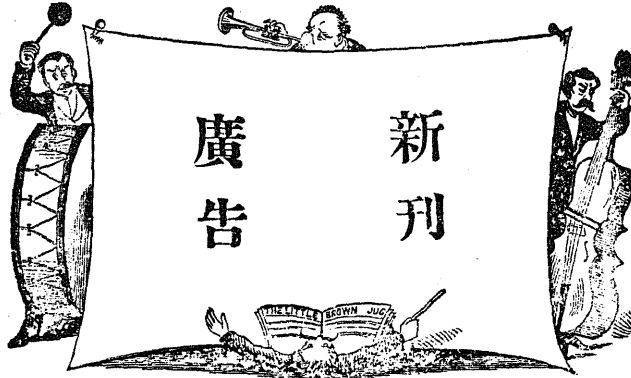
名 印

東京府教育會御中



# 唱歌教科書

近來唱歌の流行普及に伴ひ、之が用書の發行さるゝもの夥しきも、其の多きもの非



## 新刊 廣告

及教授上一の間然する所なき未曾有の最良教科書と云ふも決して誣言にあ

教師用 全四冊 第一卷定價金三十錢 第二卷定價金三十錢 第三卷定價金三十錢 第四卷定價金三十錢  
 生徒用 全四冊 第一卷定價金十五錢 第二卷定價金十五錢 第三卷定價金十五錢 第四卷定價金十五錢  
 郵税一冊に就き金四錢

はた零細なる流行節の歌曲に非  
 秩序系統ある教科書に全くも  
 の殆無きが如し其撰本篇に先づ其  
 れら先づ其撰本篇に先づ其  
 今各地に於ける唱歌普及上の状  
 並に其教授上一般の経験及意見等  
 編求上の方針を統計して之にて其  
 編曲の數を大に集めて得たるもの  
 及文學の數を大に集めて得たるもの  
 撰し、なほ曲毎に其自然の樂趣  
 調子の速さを附記し音域上最適當  
 等の順序に従ひ、最も系統及適當  
 の心排列したるものなれば、該科  
 之教科書として最も適切な良書  
 なくして教師別に教案を作る要  
 其の全々本書所得の順序のまゝ  
 て本書は之を生徒用教師用の  
 二部に分ち、其生徒用は假名遣ひ  
 規定に從て印刷し、又其教師用  
 は毎歌曲特上意の諸注意を丁  
 演奏上及教授上の諸注意を丁  
 綿密に附記したれば、該科の學習

明治三十四年二月六日 内務省許可  
 明治三十四年一月廿八日 第三種郵便物認可

吉田信太編  
 本書は女子高等師範學校其他の學校に於て實施せ  
 らるゝ、舞蹈の方法及樂譜を記載せし者也

洋琴 金參百圓以上 各種  
 ヴァイオリン 貳千圓迄 各種

樂隊用樂器 金四圓以上其他バス、バットン、テナリ、アルト、  
 大太鼓金貳拾圓以上小太鼓八圓半以上シンバル、  
 金四圓以上其他バス、バットン、テナリ、アルト、  
 コルチット、トロンボン等金貳拾圓以上百六拾  
 圓迄

鼓隊用樂器 橫笛金壹圓以上  
 太鼓金拾圓以上 學校用一組拾三圓

手風琴 金二圓五拾錢以上  
 參十圓迄 各種

附山葉風琴 定價金十六圓五十錢  
 以上、貳百圓迄

右の外兩用風琴、吹風琴、ハーモニカ、フラジオーレ  
 ツト其他各樂器並に和洋音樂書各音樂附屬品各種  
 オルガン、調律、進修、呈繕

郵券二錢 御送附  
 御送附 目錄 進修 呈繕

御送附 目錄 進修 呈繕